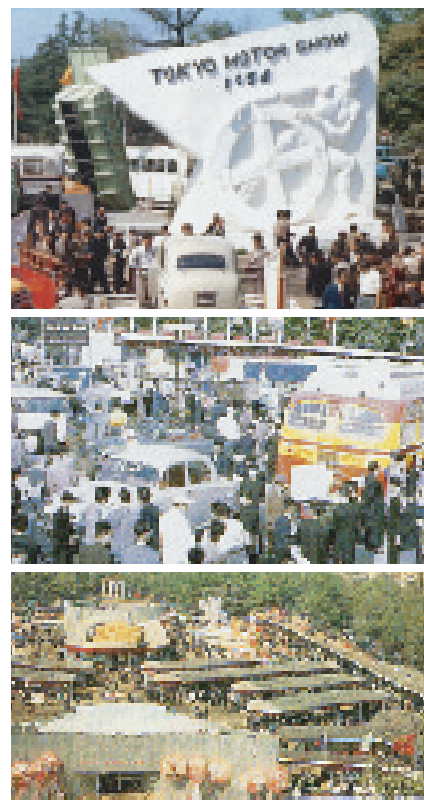


50th Anniversary



新たな半世紀に入る、 第39回東京モーターショー。

東京モーターショーが第1回全日本自動車ショウとして産声を上げたのは、1954年(昭和29年)。東京・日比谷公園特設会場に展示された自動車の殆どはトラックやバスなどの商用車で、乗用車の展示は僅か17台。当時の自動車は庶民にとって“夢のまた夢”だったのです。

それから半世紀。日本は世界を代表する自動車生産大国となり、今もなお、全世界の自動車産業をリードし続けています。東京モーターショーは、こうした日本の基幹産業とも言える自動車と共に歩んできました。国内外の自動車メーカー・トップが集い、世界に向けてコンセプトカー、新車、新技術を発表する場として、東京モーターショーは確固たる地位を築いています。

39回目となる今回の東京モーターショーが新たな半世紀に入る節目であることから、これまで以上に注目度の高い東京モーターショーとなります。

50年の歴史を振り返る プレミアムイベントの 開催が決定!

新たな半世紀に入る第39回東京モーターショーでは、これまでになかったスケールの大きなプレミアムイベントを計画中。

東京モーターショーにご来場の全ての方に楽しんでいただけるよう準備も着々と進行中です。今年のプレミアムイベントにご期待ください。

Secret

日本最大級。 150万人の来場は確実!

第39回東京モーターショーは、何と150万人の来場者を見込んでいます。お子様からご高齢の方まであらゆる層の来場者が会場に訪れます。女性からの支持も昨年開催の第38回ショー(商用車)では飛躍的に向上し、実に4人に1人が女性来場者でした。

4人に1人が女性!



東京モーターショーが単なる新型車発表の場としてでなく、クルマ文化を体感できるエンターテインメント性あふれる国際ショーとしてご理解をいただけた結果によるものだと思います。

visitors 1,500,000

19 Days

世界最長となる会期。 17日間+プレスデー2日間。

東京モーターショーが世界最大、最長へ。第39回ショーは混雑緩和に向けて努力すると共に、一人でも多くの方に楽しんでいただけるよう、世界では例のない17日間の開催となります。(プレスデー2日間、計19日間)会期中に5日間あった週末および祝日が7日間となり、より快適で安全な環境がご提供できるものと期待しています。

世界5大自動車ショーの開催日程

Detroit	Jan.2005	13days
Geneva	Mar.2005	11days
Frankfurt	Sep.2005	11days
Tokyo	Oct-Nov.2005	17days
Paris	Sep-Oct.2004	16days

※プレスデーを除く

Let's Join!

参加体験型イベントが充実。



東京モーターショーのコンセプトは、「お客様参加体験型モーターショー」。今年も様々な参加体験イベントを多数ご用意しています。なかでも世界で唯一、究極のクリーンエネルギー車輛がラインナップする環境体験ランドは参加車輛台数、試乗コース共に拡張。他国に類を見ない東京モーターショーだけのオリジナリティです。

全世界のメディアが集う ニュースソース。

たった1日で8,000名もの記者が集う東京モーターショープレスデー。世界中のあらゆるプレスが取材に訪れ、全世界に発信します。

会期中に訪れる報道陣の総数は12,000名以上。その内、海外プレスは3,300名以上。

※第37回東京モーターショー集計による



Press 12,000+

ご挨拶

社団法人 日本自動車工業会 理事・事務局長 田中 勲

東京モーターショーは1954年に第1回全日本自動車ショウとして日比谷公園で産声をあげ、以来日本のモータリゼーションの発展とともに半世紀の歴史を刻み、今年、新たな半世紀に入ります。また、世界最高の国際モーターショーの一つとして国内はもとより海外の自動車・二輪車メーカーやメディアからも高い評価をいただいております。

第39回東京モーターショーは、来場者の分散化を図り混雑緩和を目指すため、会期を従来の13日間から週末を3回含む17日間に延長いたしました。

これは、Mondial de l'Automobile(パリ・モーターショー)の16日間を上回り、主要国際モーターショーとしては、世界最長の開催期間となります。

来場者数も、パリ・モーターショー(2004年)の146万人を上回る150万人を見込んでいます。

日本自動車工業会といたしましては、今年から新たな半世紀の歴史を刻んでいく世界最大規模のクルマの祭典「東京モーターショー」に様々な分野の企業の皆様からご協賛いただき、「お客様参加・体験型」の多彩なイベントを企画・実施し、お客様の視点からより“楽しめる”クルマの祭典にしていきたいと思います。

是非、多数の企業の皆様に東京モーターショーのスポンサーシッププログラムにご参加いただきたくお願い申し上げます。

なお、「乗用車・二輪車ショー」での単独開催は、今年が最後となり、2006年を休催年として、2007年の第40回東京モーターショーから乗用車・二輪車・商用車・車体・部品関連製品を含めた「総合ショー」として隔年で開催することとしております。

第39回 東京モーターショー開催概要

名称: 第39回 東京モーターショー乗用車・二輪車 (2005年)

テーマ: “Driving Tomorrow!” from Tokyo みんながココロに描いてる、くるまのすべてに新提案。

総裁: 寛仁親王殿下

会長: 社団法人 日本自動車工業会会長

主催: 社団法人 日本自動車工業会

共催: 社団法人 日本自動車部品工業会、社団法人 日本自動車車体工業会、
社団法人 日本自動車機械器具工業会

後援: 外務省、経済産業省、国土交通省、環境省、東京都、千葉県、千葉市、
国際自動車工業連合会(OICA)、日本貿易振興機構(ジェトロ)

会期: 2005年10月21日(金)～2005年11月6日(日) 17日間

プレスデー: 10月19日(水)、20日(木)

特別招待日(開会式): 10月21日(金)

一般公開日: 10月22日(土)～11月6日(日)

会場: 千葉市・幕張 幕張メッセ<日本コンベンションセンター>

URL: <http://www.tokyo-motorshow.com/>

規模: 一般来場者150万人、全世界来場メディア12,000名以上(見込)

世界12ヶ国・1地域から、4政府、234社、1団体が出品(予定)

Sponsorship Program



- 1社限定特別スポンサー
- 専用特別ブース活用権5面＋専用控室
- 会場内外広告看板掲出[※]
- 一般入場券への独占広告掲出権
- 特別招待券5,000枚、一般入場券10,000枚進呈
- 年刊自動車ガイドブックへの2P広告出稿権
- 東京モーターショー事前版・会場版パンフレットへの広告掲出権
- 東京モーターショー告知物への企業名・商品ロゴの掲出
- この他、スポンサー様の広報販売戦略にあったベネフィットをご用意

ご契約金額 ￥**50,000,000** (税別)

※完全データお預かり後の看板制作、取り付け費用を含みます。



- 専用特別ブース活用権2面
- 会場内広告看板掲出[※]
- 特別招待券200枚、一般入場券2,000枚進呈
- 年刊自動車ガイドブックへの広告出稿権
- 東京モーターショー事前版・会場版パンフレットへの広告掲出権
- 東京モーターショー告知物への企業名・商品ロゴの掲出
- この他、スポンサー様の広報販売戦略にあったベネフィットをご用意

ご契約金額 ￥**25,000,000** (税別)

※完全データお預かり後の看板制作、取り付け費用を含みます。



- 専用特別ブース活用権1面
- 会場内広告看板掲出[※]
- 特別招待券100枚、一般入場券1,000枚進呈
- 東京モーターショー告知物への企業名・商品ロゴの掲出
- この他、スポンサー様の広報販売戦略にあったベネフィットをご用意

ご契約金額 ￥**15,000,000** (税別)

※完全データお預かり後の看板制作、取り付け費用を含みます。



Official Drink Sponsor

オフィシャルドリンクスポンサー



Official Web Sponsor

オフィシャルウェブスポンサー

東京モーターショースポンサー様のベネフィットNo.1 スポンサー専用特別ブース設置権利

スポンサー様専用として展示・演出面に配慮した特別ブース設置権をご用意。貴社ならではのアイデアによるプロモーションやキャンペーン、サンプリング、商品販売などにご活用いただけます。※1



※1、ブース用途詳細については、主催者の事前申請が必要となります。

東京モーターショー会場がまるごと貴社のPRスポットに スポンサー専用特別看板パッケージ ※製作・取付込

150万人と見込まれる来場者の目に触れる東京モーターショー会場内外のあらゆる箇所に、様々なサイズ・形状の看板を設置いただけます。東京モーターショー会場内は高品質ビジュアル広告の掲出もOKです。原稿となる完全データさえご用意いただければ、東京モーターショー・スポンサーシップ事務局が責任を持って製作から設置・取り付けまで全ての施工を行います。※2



※2.特別看板権利の一部は、主催者が手配する告知・広報メディアとの連携へ入れ替えるカスタマイズも可能です。詳しいアイテムや方法については別途お問合せください。

広報活動に名称が使えるロゴが使える 第39回東京モーターショー名称・ロゴ使用権利

ご契約時点から2005年末まで、貴社の様々な広報活動や販促開発に東京モーターショーの名称やロゴが使用できます。これまでもお名刺やパンフレット、ポスター、販促ツール、キャンペーンへの名称やロゴ掲出をいただき、スポンサー様の企業活動に貢献して参りました。是非、スポンサー企業であることのメリットをご活用ください。



150万人の来場者が手にするパンフレットでの露出保証 「会場のご案内」での広告掲出

事前版(60万部)と会場版(150万部)で合計200万部以上が配布されるパンフレットに、貴社専用の広告掲出面をご用意します。海外ビジターを含め、貴社の参加協力を確実に訴求する有効アイテムです。



様々な媒体で貴社の参加協力をご紹介 主催者告知広報活動での露出

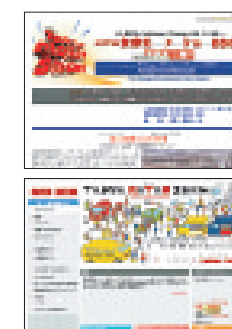
ラジオ、新聞、雑誌、交通広告、インターネットなど様々な媒体を通じて実行される主催者告知広報活動において、貴社の参加協力をご紹介いたします。



※上記は過去の実施例です。

全世界がアクセスする東京モーターショーオフィシャルWebサイトと連携 www.tokyo-motorshow.comへのバナー掲出

開催月には1,000万ページビューを誇る東京モーターショー・オフィシャルWebサイト、東京モーターショードットコム(www.tokyo-motorshow.com)。企業ロゴまたは商品名を配したリンクバナーをトップページに設定でき、新たな興味関心者層の掘り起しに有効です。第39回東京モーターショー・オフィシャルWebサイト本格オープン(2005年9月1日:予定)より、2005年終了まで掲出します。



その他、スポンサー様ならではの特典

開会式直後より始まる特別招待日の招待券や一般公開日入場券、開会式・祝賀レセプションへのご招待など、貴社営業活動に有効活用いただけるアイテムをご提供いたします。

- 開会式、祝賀レセプションへのご招待
- 特別招待券、一般入場券の進呈
- 自動車ガイドブックVol.52の広告出稿
- 東京モーターショー50周年記念史(仮称)の進呈
- 自動車ガイドブックVol.52、東京モーターショー記録DVDなどの現物進呈他